

# 甲山森林公園の森を探訪 レポート

(甲山森林公園、阪神間の住宅地甲陽園から北2km、自然の森散策路)

講師 吉村元男 (風景造園家、野生のランドスケープデザイナー)  
日時 2019年10月26日 (土曜日) 13時30分から17時 (探訪)  
主催 日本建築家協会大阪建築部会 樹木と街分科会  
参加者 9名 資料吉村先生のレジメ「ランドマークのある都市近郊の自然公園」  
六甲山系植生の変遷 (明治に六甲山系の植林事業、治山事業があった)  
場所 甲陽園から甲山森林公園、甲山大師 (神呪寺)、甲山八十八か所石仏めぐり



みくるま池より甲山を見る



展望台より甲山を見る



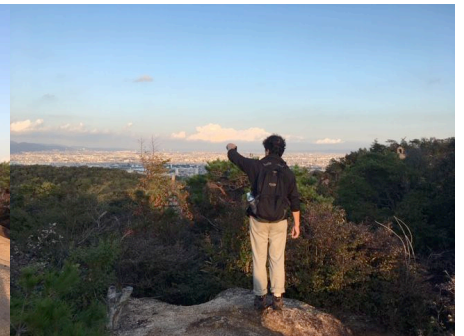
甲山大師より大阪平野を見る



甲山四国八十八か所めぐり 1



甲山四国八十八か所めぐり 2



甲山四国八十八か所めぐり 3

## 甲陽園駅からわずか2kmで都市住民が楽しめる森林公園

持続可能な生物多様性社会に向けた文明、都市のあり方についての提言。

■甲山森林公園の森 大阪には東京と違って生活圏に自然の山があった。(六甲、北摂山地他)

1、甲山は六甲山地の西南端に大阪平野につきだすようにあった。

日本の都市イメージに欠かせない原初的な風景がそこにあった。

信仰と日々の生活が共存する場所。

2、甲陽園駅から森林公園へ向かう。 郊外住宅地の周縁に広がる自然植生と代償植生の森。

3、甲山森林公園 1970年開園、83ヘクタールの広域公園

ランドマークのある都市近郊の自然公園

4、甲山大師 (神呪寺) 淳和天皇の第4妃が開いたとされ、空海の協力を仰いだとされる。

甲山を神の山とする信仰がありこの寺を神の寺 (かんのじ) としたことによる。

5、甲山四国八十八か所石仏めぐり 甲山大師の南に全行程約2キロの急な岩場を縫う山道。

大阪には地形や歴史によるものや、新たに作られ誕生した豊かな森が残っています。

まちの人々にとって身近な風景、建築は思い出として、ゆたかな生活に大切なものです。

吉村先生ありがとうございました。

文章・写真 塚口明洋